



港区新橋5-15-5  
交通ビル4F

国労東日本本部

発行責任者 大沼 元  
編集責任者 樋口孝重

2018年  
3月9日  
NO. 99

ダイジェスト版

仲間の信頼  
力に変えて  
さあ踏み出そう  
組織の拡大へ  
HP <http://www.e-nru.com/>

# 第2回 賃金交渉を行う! 3/9

**〔組合〕**

JR東日本社員の賃金は、他の大手民鉄と比較しても「突出感を与える賃金」ではない。働き方を変えることも大切だが、今こそ人材への投資を！

単純な比較はできないが、当社としては4年連続のベアに加えて、管理手当等及び扶養手当の見直しにより基準内賃金が大幅に増加していること、エルダー社員の賃金引上げ等、人への投資を行っている。

**〔会社〕**

## < JR東日本会社より現状認識が示される! >

- この間、様々なトラブルや大雪等の自然災害があったが、足元の数字は好調である。安全・安定輸送の確保に向けた社員の尽力に感謝している。また、サービス品質向上や様々な増収施策の実施など、懸命に対応していただいている社員一人ひとりの努力に感謝申し上げたい。
- 中長期の経営環境の変化に対応するための生産性向上の進捗や業績動向、物価等の経済動向、取り巻く社会状況や賃金カーブ上の課題等を踏まえつつ、職責や職能、資格・等級、年齢に応じた生計費水準等の様々な要素を勘案して議論する必要がある。
- 広くお客さまにご利用いただくことで鉄道事業を運営している、高い公共性を有した企業であることから、世の中の動向も踏まえて突出感のないよう留意すべきである。

……以上のことから、総合的に判断をしたい。

経済を活性化させるためには、企業は内部留保を設備投資や賃上げに積極的に回すべき

**JR東日本も  
その決断を!**

引き続き職場から  
**創意工夫した春闘の取り組みを!**